

第1回日野川源流探訪

令和4年6月18日（土）に9名の会員に御参加いただき、本会のメインイベントである「日野川源流探訪」を開催しました！

晴天に恵まれたこの日は、鳥たちの声を多く聞くことができました。達磨晋講師の野鳥解説は大変興味深いものでした。



アサギマダラ

※
ホトトギスが托卵することは平安時代には既に知られていたことや、大河ドラマのBGMには鳥の鳴き声が使われていて、どんな場面でどんな鳥の声が聞こえるか耳を澄まして聞き分けることも楽しみ方の1つであるということ学びました。

他にもオオサンショウウオについて寿命やどうして山椒魚と呼ばれるようになったのかなど、まだ解明されていない部分が多くあるとの話を聞きました。

また、藤原文子鳥取県自然保護監視員からも、植物や昆虫の解説を受けました。コアジサイやデウノタツナミソウ、アサギマダラやルリタテハなど、普段あまり目にしない生き物を見ることができました。参加された方からは歓声が上がリ、熱心にカメラを向ける方もいらっしゃいました。

鳥の声や美しい植物を觀賞しつつ、ロープを使って斜面を登ったり、川の中をじゃぶじゃぶ歩き、日野川を全身で味わいながら源流を目指しました。

往復約7kmの行程でしたが、とても充実した活動になりました。

日野川とその流域が美しく、豊かな自然に恵まれていることに感謝しながらこの環境を守っていきたいと感じた一日でした。

※托卵…他の鳥の巣に卵を産んでひなを育てさせる習性のこと。



ルリタテハ



参加された皆さん(講師を囲んで)



達磨講師(左端)の解説を聞く参加者

〈今後の開催予定〉

10月1日（土）実施予定です（講師：坪倉 敏氏）。9月3日（土）にも予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止いたしました。

森林整備体験&サクラソウ保全活動視察 +若松川自然観察会



昨年10月に開催した際、参加された会員の方から「次はぜひサクラソウが咲いている時期に訪れてみたい」という要望を頂戴し、今年は花の咲く春の陽が暖かい5月7日（土）に開催し、9名の会員に御参加いただきました。

サクラソウ保全活動視察（日南町神福）

福栄サクラソウ自生地にて、福栄さくらそうを守る会会長の榎木講師より保護活動の説明を受けました。

【参加者の感想】

- ・今年サクラソウの花が咲いているのを見ることができて、とても良かった。
- ・よく聞くサクラソウですが、実際に花を見るのは初めてだった。
- ・サクラソウが少なかったのに驚いた。ぜひ増やす方向で・・・。



榎木講師



森林整備体験（日南町神福）

神福にある作業林でも榎木講師から、間伐する方がよいヒノキの見分け方を教わり、伐採予定の木に目印をつけました。近年ヒノキの需要が減少し、伐採しても採算が取れないため、山が荒れてしまう現状を聞き、環境問題等について皆一様に考えさせられました。

【参加者の感想】

- ・森林整備体験は今までと違って良かった。
- ・環境問題のことを改めて考えさせられた。

若松川自然観察会（日南町湯河）

若松滝を目指し、若松川沿いを探訪しました。日本野鳥の会鳥取県支部所属の達磨講師から野鳥の声の楽しみ方や生態を教わり、藤原文子鳥取県自然保護監視員からは、植物の解説を聞きました。

【参加者の感想】

- ・植物、鳥について色々説明を受け、少しずつ知識が増えて嬉しい。
- ・ツバメやスズメがいたら人里に近いということや、トビやカラスは自然の掃除屋さんで人がごみを捨てている場所の近くを飛ぶことを知った。
- ・草の名前で、今まで見てもわからないものが分かるようになる楽しみを知った。



達磨講師



森林整備体験は森・川・海の繋がりとその大切さを知っていただく絶好の機会です。来年も開催予定ですので、御期待ください!!

会員の部屋

日野川の源流と流域を守る会会員を御紹介します。

「令和3年森と水に親しむ活動 支援事業を振り返って」

えはら もとはる
会員 江原 源治



「日野川流域の自然と歴史を知る会」メンバー

「日野川流域の自然と歴史を知る会」の事務局の江原と申します。私たちの会は、主に旧NHK米子文化センターの講座「野山を歩く」、「さわやかトレッキング」等の元受講者で構成されています。講座「野山を歩く」はセンター設立から20数年間、故枚村先生（島根大学）、矢田貝先生（大山自然歴史館）方の指導の下、島根県出雲部、鳥取県、岡山県北部の自然（特に植物）や歴史などを、年に10回（3月から12月まで毎月）現地を訪れ、学んできました。しかし、その文化センターが令和3年3月に閉鎖となり、「日野川の源流と流域を守る会」の活動を知る機会に恵まれ、その活動に参加しました。

また、「森と水に親しむ活動支援事業」に採用され、「日野川流域の自然と歴史を知る会」（現在の会員数27名）は、これを契機に誕生し、新たに活動を開始しました。講座の先生方と訪問先を計画し、案内役の西川明美さんをリーダーに日野川流域の自然と歴史を学び、得られたことを皆さんに伝えながら、仲間づくりとボランティア活動をしています。そして、持続可能な地域づくりに貢献することを目標としています。

現地学習を通じて、スマホの活用、デジタル記録、データの編集、整理法を学び、かつ広くSNS等で公開することで、日野川流域の魅力を広くアピールしています。私は、米子に帰郷して9年目になります。以前に勤務していた水産関係の国際機関では、25年以上前から「持続可能」や「再生可能」はキーワードであり、いつも頭の片隅にありました。日野川流域は、四季を通して山で山菜、茸採り、木の実拾い、川で魚とり、また祭りや法事があり、子どものころから（親戚や友人達に）遊んでもらったり、育ててもらったところ。我々の地域は、本物の豊かな自然と歴史の宝庫です。コロナや地球温暖化、戦争など世の中が大きく変わろうとしています。これからも我々の生活のプラットフォームの日野川流域の理解を深めるため「日野川流域の自然と歴史を知る会」では、わくわくする現地学習の機会を創り、皆様と一緒に楽しみたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「日野川に沿って」

はら えいこ
会員 原 栄子



（旧）江尾発電所本館

日野川と言えば、その源が三国山とは知りませんでした。源流探訪参加の折には、源流の碑を目指して山に分け入る道々、講師の先生曰く「これはオタカラコウです。」「しめしめ、もうお宝発見か。」などと思うのも束の間、恥ずかしながらのへっぴり腰で目標到達。源流の雫を集めて沸かした珈琲とともに自然の力をいただきました。

また、日野川の風景・魅力再発見ツアーでは、登録有形文化財の（旧）江尾発電所本館を見学しました。重厚な石造りにアーチ型の窓とは、発電所は人々のこれからの望む期待がすごいものなのだと感じました。現在稼働中の発電所では轟轟（ゴウゴウ）とも堂堂（ドウドウ）とも水の響きが聞こえました。あの一滴の始まりが水力発電となって流域の暮らしを担っていると思うと、日野川のこの先を守り、見続けたいと思います。

日野川の源流と流域を守る会からの御案内

令和4年これから実施予定のイベント

時期	イベント名	内容	開催場所
8月～9月	日野川の自然環境と希少生物を守る体験学習会 ※日野高校、根雨小学校及び黒坂小学校の生徒を対象とした同学習会は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止いたしました。	専門家によるオオサンショウウオ生態調査を見学し、河川生物の観察を行います。	日野町
10月1日	日野川源流探訪（第3回） ※9月3日に実施予定していた第2回は、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止いたしました。	専門家の自然解説を受けながら、日野川源流の碑を目指します。	日南町
11月	日野川の風景・魅力再発見ツアー	専門家の解説を受けながら、魅力的な日野川流域の森林や水辺の写真撮影、散策を行います。	日野川流域
12月頃	（仮称）日野川の源流と流域を守る会 設立20周年記念シンポジウム	日野川の恵まれた環境を、次の世代へ引き継いでいくことを目的に活動している当会の設立20周年を記念したシンポジウムを開催します。	米子市内

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています。

「日野川を日本一美しい川」にするため、日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しませんか？

当会の活動に興味をお持ちの方は、入会手続きや会費などについて、事務局までお気軽に御相談ください。

【お問い合わせ方法】

・Eメール・ファクシミリ

常時受付・内容確認後に御連絡させていただきます。

・電話

月～金曜日 8：30～17：15（年末年始、祝日等除く）

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章の理念】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切に、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日

日野川流域憲章制定実行委員会

紙面で開催の報告をさせていただいた各事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から参加人数に制限を設け、実施させていただきました。今後も新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しつつ感染予防対策を講じた上で、皆様に参加いただける事業を企画いたしますので、引き続きよろしくをお願いいたします。（事務局一同）